

三隅川における各整備段階での水位低下

- S58.7豪雨による災害を受け、河川改修、御部ダム及び矢原川ダムを順次整備
- 各事業の整備による水位低下は下のイメージ図のとおり（治水基準点：三隅大橋付近）
- 河川改修によりS58.7豪雨から約50cmの水位低下（S58.7豪雨における水位の把握が困難なことから、実績水位でなく想定水位としている。）
- 御部ダムの完成により河川改修時から約80cmの水位低下
- 矢原川ダムが完成するとさらに約60cmの水位低下（河川改修時から約1.4mの水位低下）

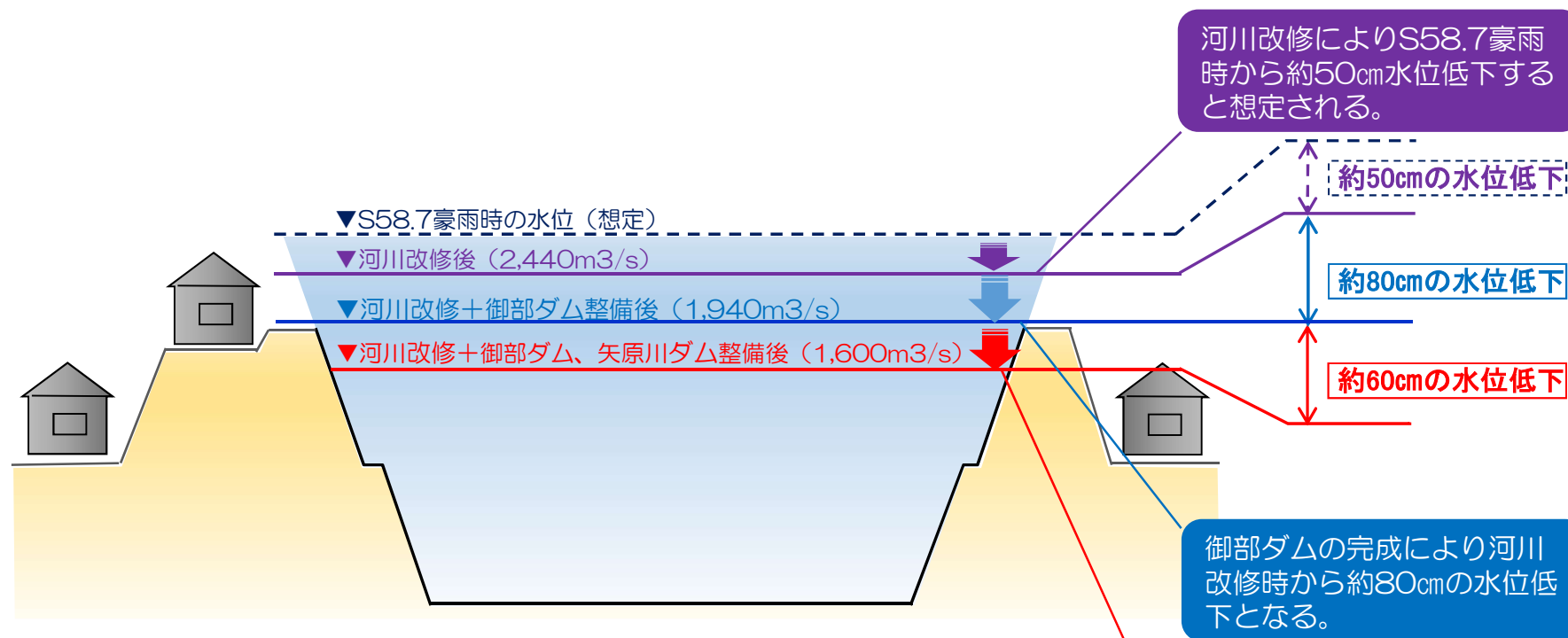


図-1 イメージ図（三隅大橋付近における水位低下）

- S58.7豪雨時の水位（想定水位）
- 河川改修後の水位
- 河川改修+御部ダム整備後の水位
- 河川改修+御部ダム、矢原川ダム整備後の水位